

令和7年度「市民と市長のふれあい対話」（サービス付高齢者住宅ゆとりあん 5階多目的ホール）での主なご意見と市の対応
2025.5

No.	地区	項目	意見要約	市長回答等	所管課	所管課補足
1	伊津部地区	伝統文化の継承について	島唄は島の言葉で歌われ、歌のかけ合いや親・恋人を思う歌などがあり、心を豊かにする奥深いものである。方言のため若者には難しい面もあるが、高齢者にとって島唄は心を和やかにし、健康にも良いと思っている。行政として、島唄などの伝統文化のバックアップをお願いしたい。	島唄は島の文化の根本であり、お祝いの席などでも欠かせないもので、今後もしっかり受け継がれる地域づくりを目指してまいります。市の取り組みとしましては、小中学校でのふるさと教育で唄者を招き、子どもたちが島唄を習う機会を設けたり、教育委員会の事業で、各集落の島唄・八月踊りの様子をDVDに保存し残しております。また、市役所の中に職員による島唄同好会があり、お祝いの席などで披露しております。その他、PRやイベントの宣伝協力をはじめ、みんなのしまさばくり応援事業において、費用面での補助など、様々な形で支援をおこなっております。今後とも職員からもアイデアを募るなどし、島唄を守り受け継ぐ地域づくりに努めてまいります。	教育委員会 学校教育課 プロジェクト推進課	（教育委員会学校教育課）本市教育行政施策の具体策として「文化活動の推進」を掲げており、学校において我が国や郷土の伝統と文化に関する関心や理解を深め、それを尊重し、継承、発展させる態度を育成する教育を推進しております。本市としましては、「あまみっ子」ふるさと学習支援事業にて、各学校の郷土教育に対する活動の支援を行っているところでございます。 （プロジェクト推進課）本年度より「みんなのしまさばくり応援事業」を実施しており、現在の地域課題の解決だけでなく、持続可能で未来の奄美市を目指す事業にも補助をさせていただいております。多様な主体の皆さんのご応募をお待ちしておりますので、ご検討いただければと思います。
2	伊津部地区	民生委員について	特定の地域（東ヶ丘、小浜町、工業団地）で民生委員が不在であり、なり手が見つからない状況がある。高齢化や隣近所付き合いの希薄化が進む中で、民生委員が身近な存在で地域との繋がりが非常に重要であると思う。自治会や老人クラブがなくなった地域もあり、連絡が行き届かず人が集まりにくい状況があるため、対策を考えてほしい。	民生委員の担い手に関する状況は厳しいと認識しております。以前、小浜町で就労されている方に民生委員になっていただいたこともございます。今後とも市も様々なアンテナを張り、地域の民生委員のなり手不足の解決と地域のコミュニティの繋がりがより良くなるように考えてまいります。また、名瀬の街中にも自治会や町内会がない地域が多々あることから、しまさばくり推進室で対策プランを検討しており、例えば他の自治会と協力して取り組みを行う「広域自治会」のような形や、市内8地区で取り組んできた福祉面の「地域支えあい体制づくり事業」の取り組みなどを活かしてまいりたいと考えております。 特に、防災面が最も気になる点の一つであります。大きな地震や津波などが起きた際に、適切に行動するには、日頃からの防災訓練や勉強・研修ができることが重要であるとも考えております。今後とも所管課と一緒に考えてまいります。	福祉政策課 総務課 プロジェクト推進課	（福祉政策課）（総務課）（プロジェクト推進課）補足なし
3	伊津部地区	子ども・子育て応援事業について	子ども・子育て応援事業に参加し、お手伝いしたことがあったが、若い保護者の皆さんの企画力・実行力は素晴らしいと感じた。今後ともこういった事業を継続していただき、若い皆さんの力を発揮できる取組みをお願いしたい。	民間の皆さんのトライアル事業として、イベントやキッズスペースを設けていただくなど、様々取り組んでいただきました。若い皆さんの取り組みは心強く感じましたし、更に地域で盛り立てていけるようにしなければならぬと感じたところです。本事業は県の事業を活用し、実施しているところです。今後とも事業の改善を図りながら継続してまいりたいと考えております。	重点政策推進監	補足なし
4	伊津部地区	物価高騰対策の食費補助について	物価高騰対策の食費補助ありがたい。仕入れ値の高騰に苦慮しており、値上げを抑えるのが難しい。補助の継続をお願いしたい。	高齢者施設等に対する食材費の補助については、県の事業に市が一部上乘せして補助を行っているところです。物価高騰の先が見えない状況でありますので、市としても国の交付金なども活用して、今後も継続的に実施できるよう努力していきたいと考えています。	高齢者福祉課	高齢者施設等食材費高騰対策事業として、県の支援事業と連動し、高齢者施設等を対象に食材費の価格高騰分の一部を支援金として交付しています。 奄美市では、令和5年度に市内の介護事業所へ価格高騰に関するアンケートを実施し、その結果から算出した物価影響高騰額をベースとして支援金を交付しています。
5	伊津部地区	不登校の居場所について	不登校（特に特性のある子）の相談が多く、居場所の選択肢が少ないのが問題である。ふれあい教室やmine（マイン）さんなどが居場所づくりの素晴らしい活動をされているが、多様なニーズに対応しきれておらず、限界に近い。保護者も困っているため、多様な不登校の子どもたちの居場所づくりや支援を検討してほしい。	教育委員会が中心となって不登校対策に取り組んでいるところです。不登校の児童・生徒や悩みを抱える子供たちの、多様な行き場が、各地域に必要と考えております。特に住用や笠利にはそういった場所がなく、以前から要望があることを認識しております。 今後とも多様性がある児童・生徒の居場所づくりについて、教育長などにしっかりと声を伝えてまいります。	教育委員会 学校教育課	補足なし
6	伊津部地区	移住について	数年前、自分（79歳）が奄美に移住する際に、市の担当窓口から「年齢が行き過ぎているからウェルカムじゃない」と言われた経験がある。パンフレットの内容と現場の対応に乖離があるのは問題であり、移住にとっても大変なおもいをした。あらゆる世代の移住者を歓迎すべきである。高齢者にとって奄美は暖かく、食事も美味しくて素晴らしい島である。日本全国（特に北国）の高齢者が冬場に奄美で過ごせるようなプロジェクトを立ち上げてほしい。	移住担当窓口が「年齢が行き過ぎているからウェルカムじゃない」と言ったのであれば、それは何かの間違いであると考えます。市としては、あらゆる世代の方の移住者を喜んで受け入れる考えであり、若い世代や子育て世代を目標としている面はありますが、年齢で差別することは一切ございません。もしそのように受け止めさせてしまったのであれば大変失礼だと思いますし、今後そういったことがないように、様々な方の受け入れをしっかりと行ってまいります。	プロジェクト推進課	補足なし

No.	地区	項目	意見要約	市長回答等	所管課	所管課補足
7	伊津部地区	クルーズ船の受入れについて	クルーズ船の受け入れ態勢が不十分であり、寂しすぎる。アムステルダムなどと比較して受け入れ体制ができていないと見える。島民全体でウェルカムの雰囲気をつくればもっと観光客が増えるはず。外国人観光客が来てもお金を使う場所が少なく、英語を話せる人も少ない。奄美を外国語に特化した島にすべきではないか。	クルーズ船については、10年近く前から地域の経済界、商店街、外国語ボランティアなどと協力して取り組んでまいりました。コロナ禍で一旦停止し、現在は再開しておりますが、人手不足が課題となっている面もあり、地域全体で受け入れる力を高められるよう、しっかりブラッシュアップして取り組んでまいります。 商店街では、英語表記やスマホでのコミュニケーション、キャッシュレス決済に対応する店が増えてきており、これを大きな流れにしていきたいと考えております。	舩観光課 商工政策課	(舩観光課) (商工政策課) 補足なし
8	伊津部地区	市の施策について	市のプロジェクトは定型的で他の自治体と同じように見える。もっとフレキシブルで、奄美が特化した点を示すプロジェクトを考えるべき。4年住んでいるが、奄美の特化している点が残念ながら見えない。日本全国にアピールできる、奄美だけの大きな夢を描いたプロジェクト、青写真を描いてほしい。	奄美市は、全国815市の中で唯一、世界自然遺産を持っている市です。この豊かな自然環境をしっかりと守りながら、それを活かして外に発信し、人と人との繋がりや豊かさを活かしてまいります。「特化」という点については、地域の持つ大事な魅力や宝をもっと発揮し、オンリーワンの奄美市と言われるよう努力してまいりますので、今後も様々な意見をいただければと思います。	企画調整課 プロジェクト推進課	(企画調整課) 本市におきましては、奄美の自然や文化など地域特性を活かした施策に取り組んでいるところです。 市全体の方針や計画については下記に掲載されておりますのでぜひご覧下さい。 https://www.city.amami.lg.jp/shise/shisaku/index.html また、令和7年度の主要な事業は下記に掲載しておりますので、あわせてご覧下さい。 https://www.city.amami.lg.jp/kikaku/shise/shiseihoshin.html (プロジェクト推進課) 補足なし